



16-2



山口 光恒

東京海上火災保険(株)副社長
一部部長 中野 浩二氏
一九三九年生まれ。慶応大
卒。東京海上に入り、は物産業
部、航空保険部、女子学生部
などを歴任。八八年から現職。

近年、わが国の企業が、米國が得意である。汚染の原因とな

近頃、わが国の企業が、米國が得意である。汚染の原因とな

最大のものは、土壌汚染に關する包括的規制が現補償責任法(通称スーパーファンド法)と

同法に依り、無過失責任(任意)を課せられて、過剰な賠償を請求する者が、責任の範囲を越えて、

所が、現在の所有権者を含めた

強まる米歐の環境法規



浄化の汚染土壌の(米國の環境コンサルタントの提供)

企業進出にリスク

本企業が買収した土地を購入した際、会社を買収した後に、この汚染が発見されたら、と大抵である。政府から浄化命令を受け、その費用は平均三千万、約四十五億、一億三千万、約百五十億、三億、約三十億、(三億)にもなる。最近では責任者が取戻されることも多い。このため、最近、米國で、各種の環境

進出に当たっては、環境リスクを回避する。最近、米國で、各種の環境

金米に、政府に属する以上、そのリスクを特定し、そのリスクを回避する。最近、米國で、各種の環境

法に違反した場合、罰金が百万、約一億五千万、(約)を課せられる。最近、米國で、各種の環境

「超」判断が重要
第三のリスクである企業メー
の低下も、経営上の問題として次第に大きくなって、環境問題に対する関心が高まるにつれ、リスクを軽減して、法律に違反しないよう企業への風当たりは強まる。環境
・環境問題・動物保護等から入
・環境問題に対する関心が高まるにつれ、リスクを軽減して、法律に違反しないよう企業への風当たりは強まる。環境
・環境問題に対する関心が高まるにつれ、リスクを軽減して、法律に違反しないよう企業への風当たりは強まる。環境